

今日の説教のポイント<マタイによる福音書8章1-4節>

①「主よ、あなたの御心のままに」と言える信仰を目指そう。

重い皮膚病（レプラ：ハンセン氏病）を患っていた人がイエス様によって癒されました。その人はイエス様に向かって、「主よ、御心ならば（if you will）、私を清くすることがおできになります」と言いました。大事な点は、彼が、「イエス様がそうしようと思われるなら、それはなる!」と堅く信じている点です。イエス様もその点を見抜かれました。なぜなら、「よろしい（I will）。清くなれ」の「よろしい」は、直訳すると、「私はそうしよう」だからです。イエス様がどう思われるかが全てであり、この病人はその点でぶれていないのです。それをイエス様は良しとされたのです。

どうでしょう、普通なら、自分の病気や災難にばかり目が行って、それを解決してくれるなら何でもいい、イエス様のところにも行ってみよう、ではないでしょうか？ しかし、この病人はそうではなかったのです。私たちはどうしたらこの男と同じほどに、イエス様のことを深く理解できるようになるのでしょうか？ ②がそのことに関係しています。

②イエス様がどのようなお方であるかを知るためには、イエス様の全生涯を見つめなければならぬ。十字架の死とその後の復活まで。

イエス様は、なぜか自分が起した奇跡を隠されます。どうして隠されるのでしょうか？ 治った人に話させて、人々を自分に引きつけることもできたのに。これは「メシヤの秘密」と呼ばれている新約聖書の中の不可解な箇所の一つです。しかし、よく考えると、少しも不可解ではありません。多くの人、イエス様の奇跡を見聞きして、救いを求めてイエス様の所にやって来ました。しかし、その後、ほとんどの人はイエス様から離れて行きました。なぜでしょうか？ イエス様のすごい奇跡を見るだけでは、その後のイエス様の十字架の死と復活が持っている大事な意味を理解するまでには至らず、むしろ、ご利益宗教的な理解で終わってしまったのです。だからイエス様は誰にも話さないように命じられたのです。あなたの信仰の求め方は正しいでしょうか？ しっかり聖書を読みながらイエス様の全生涯を見つめ、そこから聞き取ろうとしているのでしょうか？ そうするなら、神様の恵みが必ず分かって来ます！